

コンテナ物流の総合的集中改革プログラム

参考資料

～3年間の“目標達成型”モデル事業による効率的かつ低炭素型の物流ビジネスモデルの確立～
(経済団体等との共同プロジェクト)

施策	具体的取組み	平成20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
①コンテナターミナルの24時間オープン実現のためのモデル事業	○スーパー中枢港湾の主要ターミナルにおいて、適切なコスト負担のもとでの荷主の需要に応じたモデル事業の実施 (神戸港等)	実施体制構築 協議会設置	モデル事業			実現
②内航フィーダーサービス等の充実のためのモデル事業	○内航フィーダー輸送網の強化 ・神戸港－中・四国 等 ○バージ輸送網の強化 ・京浜港－千葉港 ・大阪港－神戸港	実施体制構築	モデル事業			実現
③鉄道による内陸へのコンテナ輸送サービスの充実のためのモデル事業	○海上コンテナ鉄道輸送ルートの充実 ・京浜港－内陸部	実施体制構築	モデル事業			実現
④インランドポートを活用した空コンテナ輸送効率化のためのモデル事業	○インランドポートの活用等による内陸部におけるコンテナの新しい流通システムの確立	実施体制構築	モデル事業			実現
⑤電子タグ等を活用した港湾物流情報化推進のためのモデル事業	★港湾関連手続の簡素化・統一化 ★出入管理システムの構築 ○情報システム、電子タグ等の情報通信技術(ICT)の活用による事業者業務の徹底効率化及び手続の自動化	貿易手続改革プログラム 集中改革期間	施設整備・順次実現			実現

○:集中改革プログラムでの実施事項 ★:連携施策